

## 2 授業科目の概要

<薬学研究科薬学専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	薬化学特論	1~4前	1								兼2 兼3 兼2 兼3 兼2	オムバス、隔年開講、集中 担当分担により、教員を追加(24) 担当 河井 伸之(助教)…兼担 辞任(退職)により、担当教員を削除(26) 担当 橋本 貴美子(准教授)…兼担 担当 河井 伸之(助教)…兼担 新規採用により、教員を追加(26) 担当 星谷 尚亨(助教)…兼担
	薬品化学特論	1~4前	1								兼3 兼2	オムバス、隔年開講、集中 新規採用により、教員を追加(25) 担当 小林 数也(助教)…兼担
	薬品製造学特論	1~4前	1			1		1	1			オムバス、隔年開講、集中 新規採用により、教員を追加(24) 担当 小島 直人(講師)
	代謝分析学特論	1~4前	1			1		1				オムバス、隔年開講、集中 辞任(退職)により、担当教員を削除(25) 担当 吉川 豊(講師)
	薬品分析学特論	1~4前	1			1	1	1				オムバス、隔年開講、集中 昇任(異動)により、教員を追加(25) 担当 武上 茂彦(准教授)
	生物物理化学特論	1~4前	1								兼3 兼2 兼3	オムバス、隔年開講、集中 辞任(退職)により、担当教員を削除(25) 担当 土谷 博之(講師)…兼担 新規採用により、教員を追加(26) 担当 扇田 隆司(助教)…兼担
	生薬学特論	1~4前	1								兼2 兼3	オムバス、隔年開講、集中 辞任(退職)により、担当教員を削除(25) 担当 吉川 雅之(教授)…兼担
	公衆衛生学特論	1~4前	1								兼2	オムバス、隔年開講、集中
	衛生化学特論	1~4前	1			1				1	2	オムバス、隔年開講、集中 辞任(退職)により、担当教員を削除(25) 担当 松尾 剛明(助教)
	生化学特論	1~4前	1			1	1				2 1	オムバス、隔年開講、集中 辞任(異動)により、担当教員を削除(25) 担当 山岸 伸行(准教授) 新規採用により、教員を追加(25) 担当 中山 祐治(教授) 新規採用により、教員を追加(26) 担当 久家 貴寿(助教)

「がん薬物療法を専門とする薬学研究者養成コース」履修者については、自由科目(1単位)とする。

専 門 科 目	感染制御学特論	1~4前	1	1	1	1	1	<p>オムバス、隔年開講、集中            辞任(退職)により、担当教員を削除(24)            担当 奥田 潤(准教授)</p>
	臨床薬学特論	1~4前	1	1	1	1	1	<p>オムバス、隔年開講、集中</p>
	薬物治療学特論	1~4前	1	1	1	1	1	<p>オムバス、隔年開講、集中            辞任(退職)により、担当教員を削除(25)            担当 竹内 孝治(教授)            昇任(異動)により、教員を追加(25)            担当 加藤 伸一(教授)            昇任(異動)により、教員を追加(25)            担当 加藤 伸一(教授)            昇任(異動)により、教員を追加(26)            担当 天ヶ瀬 紀久子(講師)            新規採用により、教員を追加(26)            担当 松本 健次郎(助教)</p>
	病態生化学特論	1~4前	1	1	1	1	1	<p>オムバス、隔年開講、集中</p>
	病態生理学特論	1~4前	1	1	1	1	1	<p>オムバス、隔年開講、集中            新規採用により、教員を追加(24)            担当 芦原 英司(教授)</p>
	薬理学特論	1~4前	1	1	1	1	1	<p>オムバス、隔年開講、集中            新規採用により、教員を追加(24)            担当 大矢 進(教授)            辞任(退職)により、教員を削除(26)            担当 奈邊 健(准教授)            昇任(異動)により、教員を追加(26)            担当 藤井 正徳(准教授)</p>
	臨床薬物動態学特論	1~4前	1	1	1	1	1	<p>オムバス、隔年開講、集中            担当分担により、教員を追加(24)            担当 伊藤 由佳子(講師)            辞任(退職)により、教員を削除(26)            担当 高田 寛治(教授)            新規採用により、教員を追加(26)            担当 栄田 敏之(教授)</p>
	薬剤学特論	1~4前	1	1	1	1	1	<p>オムバス、隔年開講、集中</p>
	細胞生物学特論	1~4前	1	1	1	1	1	<p>オムバス、隔年開講、集中            大学院教育充実のため科目追加(24)            担当 藤室 雅弘(教授)            担当 賀川 裕貴(助教)            担当分担により、教員を削除(25)            担当 賀川 裕貴(助教)</p>

「がん薬物療法を専門とする薬学研究者養成コース」履修者については、自由科目(1単位)とする。

専門科目	臨床医科学特論Ⅰ	1~4前		1		1	1				オムバス、隔年開講、集中 科目名変更(24)	「がん薬物療法を専門とする薬学研究者養成コース」履修者については、 必修科目(1単位)とする。
	臨床腫瘍学特論											
	臨床医科学特論Ⅱ	1~4前		1		1					オムバス、隔年開講、集中 科目名変更(24)	
	医薬品評価科学特論	1~4前		1		1		1			オムバス、隔年開講、集中 新規採用により、教員を追加(24) 担当 本橋 秀之(講師)	
	創薬腫瘍科学特論	1~4前		1		1			兼 3		オムバス、隔年開講、集中 「がん薬物療法を専門とする薬学 研究者養成コース」設置のため 科目追加(24) 担当 山下 正行(教授) 担当分担により、教員を削除(25) 担当 松田 久司(教授)…兼担 担当分担により、教員を追加(25) 担当 小島 直人(講師)…兼担	
	腫瘍細胞生物学特論	1~4前		1		1			1		オムバス、隔年開講、集中 「がん薬物療法を専門とする薬学 研究者養成コース」設置のため 科目追加(24) 担当 藤室 雅弘(教授) 担当 賀川 裕貴(助教) 担当分担により、教員を削除(25) 担当 賀川 裕貴(助教)	
	腫瘍薬剤学特論	1~4前		1		1		1		兼 1	オムバス、隔年開講、集中 「がん薬物療法を専門とする薬学 研究者養成コース」設置のため 科目追加(24) 担当 矢野 義孝(教授) 担当 本橋 秀之(講師)	
	25 小計(24科目)	-	0	25 24	0	20 19 13	5 4 7	8 7 4	7 10 8	-		
	総合薬学セミナー	1~4通	2			17 16 13	5 6 7	5 7 5	13 12 11		兼 11 兼 12 兼 13	
	薬学研究演習	1~4通	4			17 16 13	5 6 7	5 6 6	13 兼 6 兼 7		兼 5 兼 6 兼 7	
	課題研究	1~4通	20			17 16 13	5 6 7	5 6 7	13 兼 6 兼 7		兼 5 兼 6 兼 7	
	小計(3科目)	-	26	0	0	17 16 13	5 6 7	5 7 5	13 12 11	-		
	28 合計(24科目)	-	26	24	0	17 16 13	5 6 7	5 7 5	13 12 11	-		

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 3	科目 21	科目 —	科目 24	科目 3	科目 25	科目 —	科目 28	
				[0]	[4]	[—]	[4]	

- (注)
- ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)